

【説明資料(提出ファイル)】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFに変換した後, web 提出フォームにて提出する。

個人・グループ名	高梨 清美	大学名	愛知教育大学
作品名	パターン収納	人数	1名

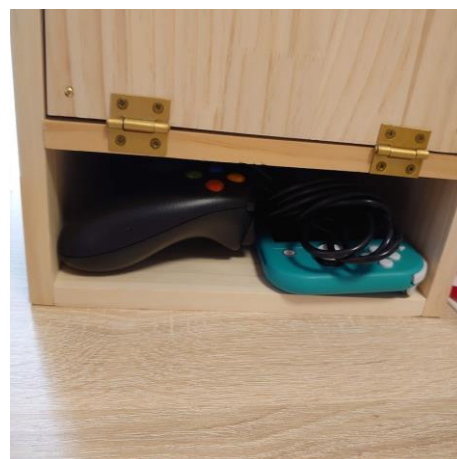
【製作の動機、目的】

自粛期間中にゲームや配信を行うことが増え、机の上が勉強のためのものだけでなく、趣味のものも上手に整頓出来ていない状況になっていました。どちらかに集中したいときに、物があふれていると気が散るため、正面と裏に二つの収納を作り、どちらの収納を前に持ってくるかで、今から何をするのかを自分の中で明確にできるようにしました。

【利用方法】



- ・取っ手付きの前倒れ扉が前面と背面に1つずつあります。
- ・上部にはノートスタイルのものを入れられます。(私はペンタブレットを収納しています)
- ・片側にはメイン収納の下に少し幅のある扉なしの空間があるので、すぐに取り出したいものを入れられます。



【製作のポイント】



横板付きの扉

→横板により、扉が中に入り込んでしまうことを防いでいる。  
また、中に細かなものを入れ、開けた時に横にこぼれない。



ノート収納

→A4サイズの厚くないものを立てられる。  
高さはノートよりも低いため、ノートが取り出しやすい。

○作品の工夫

生活スタイルによって収納するものは変わってくる。  
今は在宅のことが多いため、PCの周辺機器が多い。ただこれから先もこの作品を生活の中に取り入れるとしたら、数年後には周辺機器を収納することはないかもしれない。そうなったときに、専門性の高い収納よりも、汎用性の高い収納にしたいと考えた。

そのため、今回の作品は勉強・ゲームにこだわらず様々なものが収納できる工夫をした。